

# 総務省統計局及び(独)統計センターの 和歌山県への一部移転について

～ 日本のデータ利活用拠点を目指して ～



和歌山県PRキャラクター「きいちゃん」

平成30年4月26日 和歌山県

平成30年4月1日、「政府関係機関の地方移転」の一環として総務省統計局等が設置する「統計データ利活用センター」と和歌山県が設置する「和歌山県データ利活用推進センター」が開所しました。

【所在地】南海和歌山市駅ビル5F（和歌山市東蔵前丁）

### 【組織概要】

○ 総務省統計局  
(独)統計センター 統計データ利活用センター

所 管：総務省統計局及び(独)統計センター

職 員 数：13名

うち統計局より5名、(独)統計センターより4名、  
地元雇用1名、非常勤研究員3名

主な業務：①統計マイクロデータ（調査票情報）の提供  
②地方公共団体等における統計データ利活用の推進  
③統計データ利活用に関する人材育成

○和歌山県データ利活用推進センター

所 管：和歌山県

職 員 数：6名

うち非常勤顧問1名、任期付研究員2名

主な業務：①行政課題に関する研究  
②高等教育機関等における人材育成支援  
③民間企業等におけるデータ利活用の推進



南海和歌山市駅ビル



合同開所式

# 総務省統計局 (独) 統計センター 統計データ利活用センターの取組

## データサイエンス・EBPMに資する 統計データ利活用推進

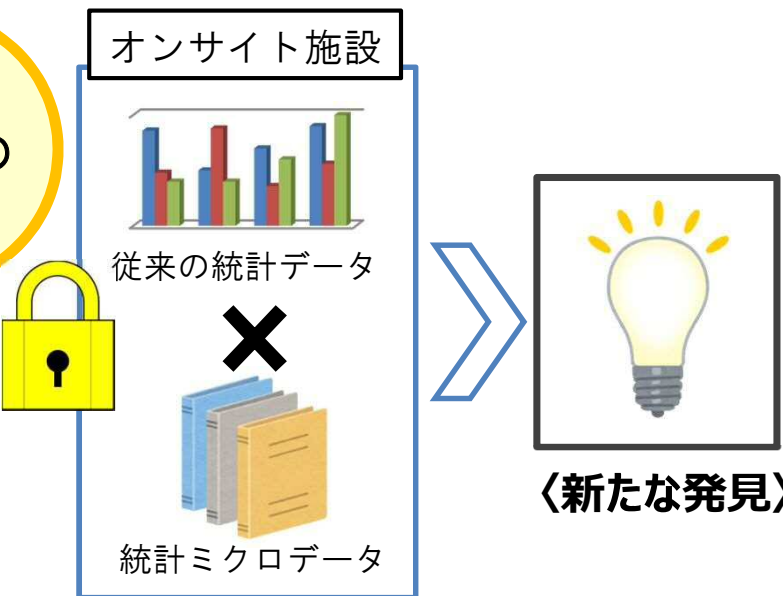
地方公共団体における統計データを活用した課題解決の支援、データによる課題解決事例の研究等、統計データの利活用を推進



## 統計データ利活用に関する 人材育成

データサイエンススキルの向上支援のため、公務員を対象とした研修会やビジネスパーソンを対象とした講習会等を実施

先進的な  
データ利活用の  
推進拠点



## 統計マイクロデータの提供

情報セキュリティを確保しつつ高度なデータ解析を可能とする環境(オンサイト施設)を構築し、統計マイクロデータ(集計される前のデータ)を提供することで、地域の課題解決や発展を促すための環境を整備

# 統計データ利活用センター

オンサイト施設



運用管理施設



執務スペース



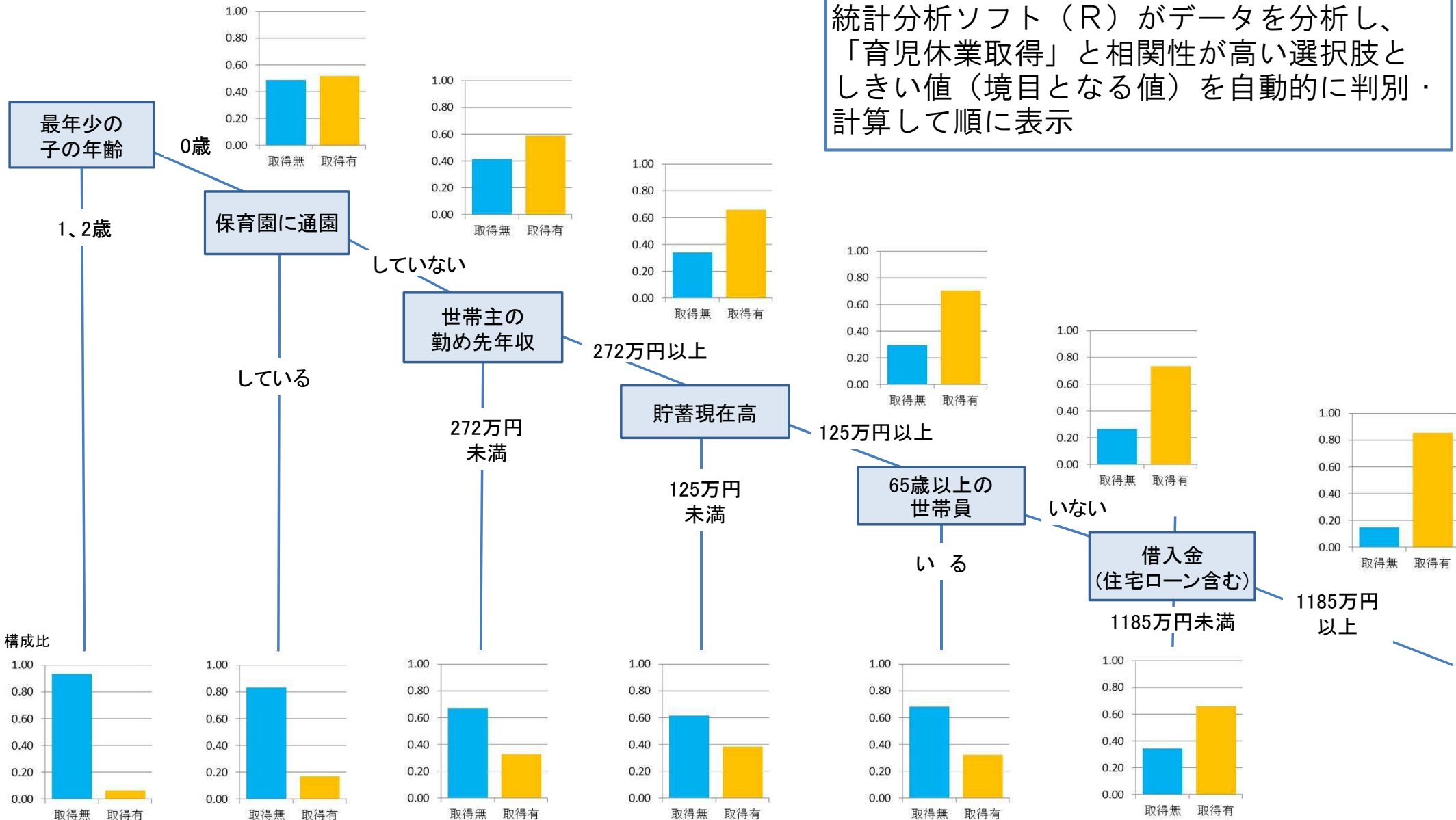
# 統計マイクロデータ分析イメージ

※平成26年全国消費実態調査を基に作成した擬似データを使用

## 育児休業取得の有無の決定木分析

世帯主の配偶者が就業者で2歳以下の子供のいる世帯 (1728世帯分のデータ)

統計分析ソフト (R) がデータを分析し、「育児休業取得」と相関性が高い選択肢としきい値 (境目となる値) を自動的に判別・計算して順に表示



# 和歌山県データ利活用推進センターの取組

日本のデータ利活用拠点をめざして、産学官の連携によりデータ利活用を推進し、行政課題の解決や県内企業の競争力を強化

## 和歌山県データ利活用推進センター

- 岡山大学 中村良平教授を顧問に招聘
- データサイエンティスト2名を新たに採用



様々なデータを収集し、複数のデータを連携させた高度な分析・研究を実施

- 1 人工知能(AI)を用いてSNS情報を抽出・蓄積
- 2 医療や健康に関するデータを分析

連携

総務省統計局・(独)統計センター  
統計データ利活用センター

民間企業

医療機関

様々な分野でのデータ利活用が進むことで…

〈県内企業では〉

**新商品開発や販路開拓等を実現**

〈行政では〉

**エビデンスに基づく政策立案を推進**